

社団法人日本野球機構平成 22 年度事業報告

(自平成 22 年 10 月 1 日～至 23 年 9 月 30 日)

社団法人日本野球機構定款第 4 条に定める事業の順に記した。

▽ 球団間の試合日程の編成および審判

* 2010 年・セントラル、パシフィック両連盟選手権試合

- ・ セントラル・リーグは中日が 4 年ぶり 8 度目の優勝。クライマックス・シリーズでは、ファーストステージで 2 位の阪神を下した 3 位の巨人を破り、日本シリーズ進出を決めた。
- ・ パシフィック・リーグは福岡ソフトバンクが 7 年ぶり 14 度目の優勝。クライマックス・シリーズでは、3 位の千葉ロッテが、ファーストステージで 2 位の埼玉西武、ファイナルステージでは福岡ソフトバンクを破り、日本シリーズ進出を決めた。

* 2011 年・セントラル、パシフィック両連盟選手権試合

- ・ セントラル・リーグ、パシフィック・リーグとも交流試合を含め 1 球団 144 試合。
- ・ 両リーグとも上位 3 球団によるクライマックス・シリーズ勝者が日本シリーズに進出する。
- ・ 3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響を受け、パシフィック・リーグ、セントラル・リーグ共に 4 月 12 日に開幕。

* 2011 年・ジュニア・ペナント・レース

イースタン・リーグは、ウエスタン・リーグとの交流試合を含め 1 球団 108 試合、ウエスタン・リーグは、イースタン・リーグとの交流試合を含め 1 球団 104 試合を実施。ウエスタン・リーグは中日ドラゴンズ、イースタン・リーグは北海道日本ハムファイターズが制した。

▽ 野球試合の主催

* 2010 年・日本選手権シリーズ

10 月 30 日から 11 月 7 日までの間、中日と千葉ロッテの間で両チームの本拠地、ナゴヤドームおよび千葉マリンスタジアムにおいて行い、千葉ロッテが 4 勝 2 敗 1 分で 5 年ぶり 4 度目の日本一となる。

入場者 233,629 名

入場料収入 1,254,570,000 円

テレビ・ラジオ放送料収入 562,847,250 円

* 2011 年・フレッシュオールスターゲーム

7 月 21 日、富山市民球場で開催。

* 2011 年・オールスターゲーム (特別協賛社：マツダ株式会社)

7 月 22 日にナゴヤドーム、7 月 23 日に QVC マリンフィールド、7 月 24 日に日本製紙クリネックススタジアムで開催。

入場者 86,666 名

入場料収入	425,340,862円
テレビ・ラジオ放送収入	90,533,000円
特別協賛金	190,000,000円

▽ 野球規則の制定および野球技術の研究

- * 野球規則委員会においてプロ、アマ合同でルール研究会を行なう。

▽ 野球選手、監督および審判の養成

- * 2010年・ファーム秋季教育リーグ

12球団のファームチームが参加して、宮崎県内の各球場でフェニックス・リーグを10月5日から10月26日まで開催。

- * 2010年・新人選手選択会議

「新人選手選択会議」「育成選手選択会議」を10月28日に開催。

- * 2011年シーズン・選手、審判員トレーニング

セントラル、パシフィック両連盟の各球団は、それぞれの選手に対し2月1日から沖縄、九州、四国のキャンプ地でトレーニングを行なう。2月下旬から3月下旬まで各球団は非公式試合を実施。両連盟も各キャンプ地に審判員を派遣、研修およびトレーニングを行ない、非公式試合に参加した。

- * 2011年・新人選手研修会

2月28日に東京都内のホテルに12球団の新人選手を集め、社会常識、納税に関する基礎知識、暴力団対策等の講習を実施。

▽ 野球に関する指導および普及奨励

- * プロ・アマ合同で『2011年・公認野球規則』を発刊。

- * 『2010年・日本シリーズ公式プログラム』、『2011年・プロ野球公式記録集、オフィシャル・ベースボール・ガイド』、『2011年・プロ野球オールスターゲーム公式プログラム』を編集発刊。

- * 公式記録の電算システム化によるベースボール・インフォメーション・システム（BIS）を継続し、公式戦および過去の記録を球団、球場、メディアに配信。

- * 試合速報を文字情報として携帯電話に配信するサービスを継続。

- * インターネットでの情報配信。日本野球機構のホームページでオールスターゲーム、日本シリーズ、ドラフト等の速報やプロ野球の最新情報を適宜配信。

- * 12球団が小学校5、6年生によるジュニアチームを編成し、12月26日から28日まで、福岡Yahoo! JAPAN ドームで「NPB12球団ジュニアトーナメントENEOS CUP」を開催。

- * 9月4日、19日に第7回NPBCUP選抜学童軟式野球大会を開催、関東の16チームが参加した。

▽ 野球に関する資料の収集、調査および研究

- * 公式戦の記録収集を継続。

▽ 野球選手、監督、審判および野球関係者の表彰ならびにそれらの者のための養老厚生事業の実施

- * 2010年両リーグ、ペナントレース表彰選手を全国の経験5年以上のプロ野球担当記者による投票で最優秀選手、最優秀新人、ベストナインを選出。最優秀選手にはセ・リーグが和田外野手（中日）、パ・

リーグは和田投手（福岡ソフトバンク）が選ばれた。

- * 第34回正力松太郎賞選考委員会を11月15日に開催、千葉ロッテの西村徳文監督を選出した。
- * プロ野球コンベンションを11月18日に開催。セントラル、パシフィック両連盟の選手表彰式およびパーティー、イースタン、ウエスタン両連盟表彰式を実施。
- * 3月15日の年金運営委員会において、適格年金の解散と、その廃止日を5月1日とすることが決議された。

▽ 球団間の連絡、親善

- * 社団法人日本野球機構通常総会（9月28日）

自2010年10月1日～至2011年9月30日、（社）日本野球機構予算を承認。

自2010年10月1日～至2011年9月30日、（社）日本野球機構事業計画を承認。

- * 社団法人日本野球機構通常総会（11月9日）

自2009年10月1日～至2010年9月30日、（社）日本野球機構決算報告および事業報告を承認。

自2009年10月1日～至2010年9月30日、野球組織およびコミッショナー事務局の決算報告を承認。

- * 社団法人日本野球機構臨時総会

▽2010年12月6日

- ・理事および監事の任期満了に伴う改選の件

理事 加藤良三 清武英利 沼沢正二 西脇紀人 新 純生 鈴木清明 笹川 博

飯田則昭 村山良雄 島田利正 石川 晃 井上智治 村上尚之

監事 小林信次 南 信男 以上の理事、監事の再選重任を可決承認した。

▽2011年1月20日

- ・副会長就任に関する件

新・新 純生、旧・沼沢 正二を承認

▽2011年3月1日

- ・理事就任に関する件

福岡ソフトバンクホークス

新・高田 浩一郎、旧・村上 尚之を承認

- ・監事就任に関する件

新・鈴木 正、旧・南 信男を承認

▽2011年4月4日

- ・理事就任に関する件

中日ドラゴンズ

新・佐藤 良平、旧・西脇 紀人を承認

- ・監事就任に関する件

新・居郷 肇、旧・小林 信次を承認

・理事就任に関する件

読売ジャイアンツ

新・原沢 敦、旧・清武 英利を承認

* 各種委員会

オーナー会議2回、実行委員会11回、その他に各種委員会を随時開催。

▽ 野球に関する国際的な連絡および事業の実施

* 2010年日韓クラブチャンピオンシップ

11月13日に、韓国(KBO)、日本(NPB)のチャンピオンチーム決定戦が東京ドームで行われ、日本代表の千葉ロッテマリーンズと韓国代表のSKワイバーンズが対戦、千葉ロッテが3-0で勝って、日韓クラブチャンピオンの座についた。

▽ アマチュア野球またはアマチュア野球をふくむアマチュアスポーツの振興またはその援助を目的とする公益的団体への資金的援助

* アオダモ育成の会援助。バット原料になるアオダモの植林活動等の運動に協力する。

▽ 野球に関する博物館、図書館等の公共施設にたいする資金的援助

* 野球体育博物館への援助。

▽ その他目的を達成するために必要な事業

* 公益法人改革への対応

・理事会の下に移行プロジェクト委員会を発足させ、一般社団法人移行への具体的検討を継続。

以上